

(文書番号:18002Z006)

2020年1月30日





# 目 次

1	はじめに	1
2	2 動作環境	1
	2.1 本ソフトのダウンロード	4
	2.2 本ソフトのインストール	6
	2.3 本ソフトの実行時エラー対策	
3	3 本ソフトの起動手順	9
4	↓DMA-T2X の接続/設定/起動方法	9
5	5 パラメータの新規作成(通信サービス/接続情報/メールアカウント設定ウィザード)	10
	5.1 使用する通信サービスを選択する	
	5.2 サーバーの接続情報を入力する	11
	5.3 メール設定を入力する	12
	5.4 設定を完了する	
6	面前說明	14
	6.1 メイン回面	
	0.1.3 設定メーユー	1/
	0.1.4 編集モート	
	6.1.5 作成メーユー	
		19
	6.2 設定画面	
	6.2.1 接続設定	
	6.2.2 メール送信設定	24
	6.2.3 メール受信設定	25
	6.2.4 本体動作設定	
	6.2.5 接点入力設定	
	6.2.6 アナログ入力設定	
	6.3 メンテナンスメニュー	43
	6.3.1 現在入力値読み込み	44
	6.3.2 システムログ読み込み	45
	6.3.3 日時情報設定	
	6.3.4 パラメータ初期化	

6.3.5 パルス入力カウント変更	48
6.3.6 本体再起動	49
6.3.7 moperaU 登録変更モードの設定	50
6.3.8 本体 FW バージョンアップ	53
6.3.9 UIM カード電話番号読み込み	54

# 1 はじめに

「DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)」(以下、「本ソフト」と記載)は、DMA-T2X の動作に必要な設定値 (以下、「パラメータ」と記載)を設定するためのアプリケーションソフトウェアです。

- 本ソフトのインストーラは、弊社のホームページ(https://www.haneron.com/download/)(※会員登録制)よりダウンロードすることができます。
- 本ソフト起動時の初期値パラメータ(メール通信用プロバイダ設定)は、NTTdocomoが提供している moperaU メールサー バ用の内容となっております。

(※「アカウント」「パスワード」「メールアドレス」はお使いいただくユーザごとに異なるため、ご注意ください。)

- 本ソフトを利用することで、DMA-T2X のパラメータを容易に変更したり、パラメータをパソコンにファイルで保存したりする ことができます。
- 本ソフトでファームウェアバージョン「4.00.0」以降の DMA-T2X の設定が可能です。また、「moperaU 登録変更モード機能」 はファームウェアバージョン「4.08.0」以降の DMA-T2X の設定が可能です。それ以前のバージョンにつきましては正常に 設定できませんので、ご注意ください。
- 設定後は、必ず通信確認を実施してから現場に設置してください。
- 各種情報の読み出しや DMA-T2X 操作用のメンテナンス機能(「6.3 項」参照)があります。 (※各種情報を読み出すことで、エラーが出て上手く通信できない場合などに原因調査の一助となります。)
- 本書では、DMA-T2X から相手先へ通報を開始するトリガとなった事象を「イベント」として記載します。

# 2 動作環境

設定ソフトは、以下の環境でご使用いただけます。

対応 OS         Windows 10 (32 ビット) Enterprise, Pro, Home Windows 10 (64 ビット) Pro           パソコン         本ソフトインストール先のハードディスク空き容量 4MB 以上、 動作用にメモリ 1GB 以上推奨           ディスプレイ(モニタ)         解像度 1024×768 ピクセル以上           ス力装置         マウス、キーボード(※タッチパネル非対応)           ・         「USB ケーブル(A オス-miniB オス)のドライバソフト(メーカー提供の最新版)をインストール てください。 (※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)           ・         「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の 号に変更してください。 (※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開始 「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)           その他         本ソフト実行の際、万が一、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した 合は、インターネット上にある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールして	設定ソフトの動作環境	内容
パソコン         本ソフトインストール先のハードディスク空き容量 4MB 以上、 動作用にメモリ 1GB 以上推奨           ディスプレイ(モニタ)         解像度 1024×768 ピクセル以上           入力装置         マウス、キーボード(※タッチパネル非対応)           ・         「USB ケーブル(A オス-miniB オス)のドライバソフト(メーカー提供の最新版)をインストール てください。 (※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)           ・         「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の 号に変更してください。 (※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開い 「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)           その他         本ソフト実行の際、万が一、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した 合は、インターネット上にある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールして	対応 OS	Windows 10 (32 ビット) Enterprise, Pro, Home Windows 10 (64 ビット) Pro
ディスプレイ(モニタ)       解像度 1024×768 ピクセル以上         入力装置       マウス、キーボード(※タッチパネル非対応)         ● 「USB ケーブル(A オス-miniB オス)のドライバソフト(メーカー提供の最新版)をインストール てください。 (※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)         ● 「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の 号に変更してください。 (※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開始 「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)         その他         ● 本ソフト実行の際、万が一、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した 合は、インターネット上にある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールして	パソコン	本ソフトインストール先のハードディスク空き容量 4MB 以上、 動作用にメモリ 1GB 以上推奨
入力装置         マウス、キーボード(※タッチパネル非対応)           「USB ケーブル(A オス-miniB オス)のドライバソフト(メーカー提供の最新版)をインストール てください。 (※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)           「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の 号に変更してください。 (※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開始 「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)           その他           その他	ディスプレイ(モニタ)	解像度 1024×768 ピクセル以上
<ul> <li>「USB ケーブル(A オス-miniB オス)のドライバソフト(メーカー提供の最新版)をインストール てください。 (※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)</li> <li>「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の 号に変更してください。 (※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開始 「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)</li> <li>本ソフト実行の際、万が一、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した 合は、インターネット上にある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールして</li> </ul>	入力装置	マウス、キーボード(※タッチパネル非対応)
ださい。 ダウンロード先の例 (※インターネット上の公開先は複数あり) http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se342080.html ※「vb6rt340.exe」を実行して解凍し、解凍先フォルダ内に有る「setup.exe」を管理者権限で実行し	その他	<ul> <li>「USB ケーブル (A オス-miniB オス)のドライバソフト (メーカー提供の最新版)をインストールしてください。         <ul> <li>(※インストールしていない場合、正しく通信できないことがあります。)</li> </ul> </li> <li>「USB ケーブル」接続時の COM 番号が「COM17 以降」であった場合は、「COM16 以内」の番号に変更してください。             <ul> <li>(※「デバイスマネージャ」の「ポート(COMとLPT)」にある当該 COM 番号のプロパティを開き、「ポートの設定」タブにある「詳細設定」の画面で変更できます。)</li> </ul> </li> <li>本ソフト実行の際、万がー、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した場合は、インターネット上にある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールしてください。         <ul> <li>ダウンロード先の例(※インターネット上の公開先は複数あり)</li> <li>http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se342080.html</li> </ul> </li> <li>※「vb6rt340.exe」を実行して解凍し、解凍先フォルダ内に有る「setup.exe」を管理者権限で実行して</li> </ul>

# ΗΔΠΕΙΟΠ

パソコンから DMA-T2X のパラメータ設定を行うために、USB ケーブル (Aオス-miniBオス)を使用します。

N⁰	内容	備 考
1	設定用 USB ケーブル (A オス-miniB オス)	<ul> <li>●本 USB ケーブルは市販されております。</li> <li>● USB コネクタ(A オス)をパソコン側と接続します。</li> <li>● USB コネクタ(miniB オス)を DMA-T2X と接続します。</li> </ul>
2	ドライバのセットアップ用ファイル CDM******_Setup.zip(FT232R 用ドライバ)	<ul> <li>FTDI 社の USB-Serial 変換 IC 用ドライバ。(「******」には Version 番号が入る)</li> <li>ダウンロード先: <u>http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm</u></li> <li>「Currently Supported VCP Drivers: 」の「Comments」内にある 「setup executable」からダウンロード。</li> </ul>



本書では、「Microsoft Windows 10 Pro (64bit)」の画面例を元に説明しています。他の OS をご使用の場合や OS の設定に より、画面表示が異なる場合があります。

また、本書内で示すソフトウェアの画面図(ポート番号やバージョン番号などを含む)は表示例であり、実際のものと異なる 場合があります。

# ΗΔΠΕΡΟΠ

<u>)M ポート</u>	<u>の確認</u> 】							
スタートオ	ドタンを右クリック	うして表示さ	れるリスト	<b>・</b> から「デバイス	、マネージャ」を開く	<		
● <u>コント</u>	<u>・ロールパネルの</u>	)「システムと	<u>-セキュリ</u>	ティュー「システ	-ム」ー「デバイスマ	マネージャ	」を選択	
(上記	3以外の手順(※	OS ごとに舅	異なる)で言	もデバイスマネ	ージャを開けます。	。)		
<b>-</b> 10 - 4				(				
ポート((	)ار (LPT ع COM	こある「USB	Serial Po	rt (COM * )]7	ぎ COM 番号(*)を	を確認		
	プロセッサ			全般	ポートの設定し	ドライバー	≣¥xm	10216
> 1	ポータブル デバイス				THE POINT AND A	1.7.17	<b>百十</b> 水田	17721
~ 🛱 7	ポート (COM と LP	π			USB Serial P	ort (CON	14)	
	USB Serial Po	ort (COM4)					,	
> 🕛 5	7ウスとそのほかの	ポインティンク	<b>゙</b> デバイス					
> 🛄 <del>1</del>	529-			- 1-	デバイスの種类	領:	ポート (C	OMとLPT)
					制造量	⇒	※複数あ	る場合、対象
*	(上記の) フロバ	ティ」を表示	した画面	⇒	表担儿.		のメーカ	ー名を確認
*	《上記のIフロバ 利用可能な CON	ティ」を表示 4番号は「10 会け「ポー	した画面 6」までとな	⇒ います。 ッタブー「詳細!				一名を確認 rial Converter
* ない。 * * * * * * * * * * * * * * * * *	《上記の「フロバ 利用可能な CON 」、降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4番号は「10 合は、「ポー	した画面 6」までとな ・トの設定 詳細	⇒ いります。 」タブー「詳細! イベント	表進れ。 場所: 設定…( <u>A</u> )」を選択し	, 「COM	のメーカ USB Se [16 以内]	一名を確認 rial Converter Iの番号に変更し
* な な な た い 。 * 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で 利 ・ で 利 ・ 、 い ・ 。 ・ ・ い ・ ・ い ・ ・ い ・ ・ い ・ い ・ い い つ い い つ い い つ い い っ い い い い い い い い い い い い い	《上記の「フロバ 利用可能な COM 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4番号は「10 合は、「ポー ドライバー	にた画面 6」までとな トの設定 詳細	⇒ いります。 」タブー「詳細計	表退九. 場所: 設定( <u>A</u> )Jを選択し	, 「CON	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter
* なりフトで利 COM17 以 らい。	《上記の「フロバ 利用可能な COM 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4 番号は「10 合は、「ポー ドライバー	にた画面 6」までとな トの設定 詳細 /秒(B): 9	⇒ いります。 」タブー「詳細計 イベント	表進れ。 場所: 設定( <u>A</u> )Jを選択し 、	., ГСОМ	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter
* ない。 * * * * * * * * * * * * *	《上記の「フロバ 利用可能な COM 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4 番号は「10 合は、「ポー ドライバー ビット データビ	にた画面 6」までとな ・トの設定 詳細 /秒(B): 90	⇒ いります。 」タブー「詳細計 イベント	表進れ。 場所: 設定…( <u>A</u> )」を選択し ~ ~	, 「COM	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter
* ない。 * * * * * * * * * * * * *	《上記の「フロハ 別用可能な CON 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4 番号は「10 合は、「ポー ドライバー ビット データビ パリ	にた画面 6」までとな トの設定 詳細 /秒(B): 9 :ット(D): 8 ティ(P): な	⇒ いります。 」タブー「詳細] イベント 600	表進れ。 場所: 設定…( <u>A</u> )」を選択し ~ ~ ~	, 「COM	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter
* ない。 * * * * * * * * * * * * *	《上記の「フロバ 利用可能な CON 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4 番号は「10 合は、「ポー ドライバー ビット データビ パリ ストップビ	<ul> <li>にた画面</li> <li>6」までとな</li> <li>トの設定</li> <li>詳細</li> <li>/秒(B): 9</li> <li>「か(D): 8</li> <li>ディ(P): 8</li> <li>ディ(P): 5</li> <li>1</li> </ul>	⇒ いります。 」タブー「詳細] イベント 500	表進れ。 場所: 設定…( <u>A</u> )」を選択し ~ ~ ~	∽, 「COM	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter
* たソフトです COM17 じ たい。	《上記の「フロバ 利用可能な CON 以降」であった場 ポートの設定	ティ」を表示 4 番号は「10 合は、「ポー ドライバー ビット データビ パリ ストップビ フロー制	<ul> <li>にた画面</li> <li>6」までとな</li> <li>トの設定</li> <li>詳細</li> <li>/秒(B): 9(</li> <li>*ット(D): 8</li> <li>ディ(P): 8</li> <li>ディ(P): 8</li> <li>パ・(S): 1</li> <li>明御(E): な</li> </ul>	⇒ いります。 」タブー「詳細計 イベント 500	表進れ。 場所: 設定…( <u>A</u> )」を選択し 、 、 、 、 、	<b>-</b> , ΓCOM	のメーカ USB Se	一名を確認 rial Converter

本ソフトを実行する際、万が一、ランタイムファイルの不足や未設定などを示す警告が発生した場合は、インターネット上に

ある「Visual Basic 6.0 SP6 ランタイム」のファイルをインストールしてください。

(インターネット上に公開されているランタイムファイル集は幾つかあります。)

ダウンロード先の例	備考
http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/util/se342080.html	「vb6rt340.exe」を実行して解凍し、解凍 先フォルダ内に有る「setup.exe」を管理 者権限で実行

# 2.1 本ソフトのダウンロード

(1)「Microsoft Edge」「Google Chrome」などのブラウザソフトで当社のホームページを表示します。
 当社ホームページの URL は「<u>http://www.haneron.com/</u>」です。

(2) トップページの「ダウンロード会員登録」をクリックします。



過去にダウンロード会員登録していただいたお客様は再登録の必要はありませんので、手順(5)まで進んで ください。

会員登録時のユーザ名(ID)、パスワードを紛失された場合は、再度会員登録してください。

(3) 会員登録フォーム選択画面でSSL対応・非対応のいずれかを選択すると、「ダウンロード会員登録フォーム」が 表示されますので、フォーム内の必須項目を入力して「送信」をクリックします。

会員登録用のメールア 会員登録して頂くと、	ドレスをご入力ください。 ハネロンの取り扱い製品説明書をPDFダウンロード利用することができ	必須項目を入力する	
貴社名 <mark>必須</mark> お名前 <mark>必須</mark>		運用事例集	
メールアドレス 必須 お電話番号 必須	(半角英数でご入力ください)	↓ 導入事例集	
	(坊帝屯話留亏可)	ロモリンク集	
ご意見			
	クリックする		

# ΗΔΠΕΡΟΠ

(4) 入力確認画面で入力内容を確認後、「送信する」をクリックすると、入力したメールアドレス宛てにユーザ名 (ID)とパスワードを記載したメールが届きます。

メールに記載されたユーザ名(ID)とパスワードは、ダウンロードページにログインするために必要になりますので、このメールを紛失しないようにご注意ください。

いつまで待ってもメールが届かない場合、迷惑メールと判定されている可能性があります。

以下の送信元メールアドレスと件名で送信していますので、迷惑メールと判定されていないかどうかご確認ください。

- ・送信元メールアドレス「electric\_sales@haneron.co.jp」
- ・ 件名 「ダウンロード会員登録完了(控え)」

(5) トップページの「ダウンロード」をクリックします。

< 🔿 🧟 http://www.haneron.com/	♀ ¢ Ø FOMAを使った遠隔監視の.	× Ĥ☆☺
		🕑 (サイトマップ 🕥 ) リンク集 🔿 🛆
企業情報 🕥 製品案内 🕥	運用事例 ● 導入事例 ● ダウンロード ●	各種問合わせ ● 求人募集 ●
株式会社ハネロン トップページ		
		クリックする <u> ・フーは</u> 安全的地域取ります 新たいま用のないま 「エスキルになる」

(6) ダウンロード会員ログイン画面で、手順④で取得したユーザ名(ID)とパスワードを入力して「ログイン」をクリックします。

C () () http://www.haneron.com/download/	D ▼ C 🦉 FOMAを使った遠隔監視の… ×	
		^
ダウンロー	ド会員ログイン画面	
ご登録メールアドレス ログ-	に送付されたID・PASSWO インしてください。	名(ID)とパスワードを入力する
ID PASSWORD		
	ערופים ערופים ערופים ער	ックする
	インしたままにする	

(7) 入力したユーザ名(ID)とパスワードが正しければダウンロード画面に移動しますので、ダウンロード一覧の中 から「DMA-T2X」(本機)の「**設定ソフト**」を探してダウンロードします。

ダウンロードしたファイル「DMA-T2X\_SS\_setup.exe」は設定ソフトのインストールに使用しますので、ファイル(インストーラ)の保存した場所を確認しておいてください。



# 2.2 本ソフトのインストール

(1) ダウンロードしたインストーラ「DMA-T2X\_SS\_setup.exe」を PC のデスクトップ上にコピーします。



(2) インストーラを選択し、右クリックしてください。

互換モードの「互換性モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、「Windows7」を選択します。

続けて設定の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、最後に OK を押します。

<b>夛</b> DMA-T2X_SS_setup.exeのプロパティ	×
全般 互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン	
このプログラムがこのバージョンの Windows で正しく動作しない場合は、 換性のトラブルシューティング ツールを実行してください。 互換性のトラブルシューティング ツールの実行 互換性の設定を手動で選択する方法 互換モード 」 互換モードでこのプログラムを実行する:	互
Windows 7 V	
設定 □ カラ- モ-ドを制限する 8 ビット (256) カラ- □ 640 x 480 の解像度で実行する □ 全画面表示の最適化を無効にする ✓ 管理者としてこのプログラムを実行する 高 DPI 設定の変更	
▼∮へ(のユーサーの設定を変更	
OK キャンセル 適用	∃( <u>A</u> )



(3) インストーラを選択し、クリックしてください。 🥦 DMA設定ソフト(for DMA-T2X)をインストールしています。 × DMA設定ソフト(for DMA-T2X)のインストールに ようこそ このセットアッププログラムはコンピューターにDMA設定ソフト(for DMA-T2X) をインストールします。インストールを望まな(れんぽ「キャンセル」をクリックして ください。「次へ」をクリックするとインストールを続行します。 警告: このプログラムは国際著作権法及び条約により保護されています。 このプログラムの一部または全てを許可無く複製または配布することは重罪 であり、法律により厳しく罰せられます。 次へ > キャンセル (4) 画面を確認し、「次へ >」のボタンを押してください。 MA設定ソフト(for DMA-T2X)をインストールしています。 X インストールフォルダー DMA設定ソフト(for DMA-T2X)をインストールするフォルダーを選択してください。 セットアップは、次のフォルダ内にファイルをインストールします。 もしDMA設定ソフト(for DMA-T2X)を別のフォルダーにインストールした(ければ「参照」をクリッ りしてフォルダーを選択してください。 コピー先のフォルダ C:\Program Files (x86)\DMA World\DMA-T2X 参照... 必要な空き容量: 6.22 MB 現在の空き容量: 780.51 GB < 戻る 次へ > キャンセル (5)「完了」を押して、PCを再起動してください。 🥦 DMA設定ソフト(for DMA-T2X)をインストールしています。 X DMA設定ソフト(for DMA-T2X)は正常にインス トールされました! インストールを完了するためにクリックしてください。 完了

デスクトップ上に下記のアイコンが現れたら、インストール成功です。





## 2.3 本ソフトの実行時エラー対策

インストールされる PC の OS 環境や、セキュリテ設定などの原因により、稀ではありますが、本ソフト実行時に「実行時エラー」 が発生することが報告されています。

本エラーが発生した場合は、下記の手順でエラーの解消をお試しいただきますようお願いします。

(1) インストールされたプロジェクタフォルダ(C:¥Program Files¥DMA World¥DMA-T2X)を開いてください。

<sup>(2)</sup> readme\_win10.txt を「メモ帳」などで開いてください。

⑦ readme_win10.txt - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(Y) ヘルプ(H)	
/////****************ソフト実行時エラー対症法************************************	*
ステッフ1   20コントロールバネルを開く	
ヘノジラン ノステムとビオゴリティとソフラナシストの下の「ユーザーアカント制御設定の変更」をクリックする	
ステップ4 「通知しない」を設定する	
ステップ5 Ci¥Program Files¥DMA World¥本プロジェクトフォル (4)Craz msconm32.ocx, msconnet.ocx 変 Ci¥Pindows¥3ystem32	に投入する
ステップラービンFFFORFamilyFilesFUMM Mortidキンコンチンテレオルマ内にむの miscommoz.cox, miscommot.cox としに非にindowsFoysmumo4  ステップラービンFForgram FilesFUMM Mortidキンコンチントフォルタ内にある ReaBel bat を「管理者として」実行する.	LETZ C Y O
ステップ8 C:¥Program Files¥DMA World¥本プロジェクトフォルダ内にある RegAdd_win10.bat を「管理者として」 実行する	
	*
	► at

(3) readme\_win10.txt に記載している ステップ 1~ステップ 8 まで実行してください。

(4) PC を再起動してください。

# 3 本ソフトの起動手順

インストール後、以下の手順で本ソフトを起動してください。

- (1) タスクバーのスタートボタン(デスクトップ画面左下)をクリックします。
- (2) プログラムメニュー内の「DMA World」をクリックします。
- (3) 「DMA World」メニュー内の「DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)」をクリックします。
- (4) 「DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)」メニュー内の「DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)」をクリックします。

# **4** DMA-T2X の接続/設定/起動方法

(1) 本ソフトを使用して DMA-T2X と通信操作(パラメータの読み込み、書き込みなど)を行う場合、 パソコンと DMA-T2X を下図のように接続/設定してください。



- (2) 接続/設定が終わった後、DMA-T2X の「テスト」キーを押したままで電源を供給してください。
- (3) DMA-T2X のモニタ窓の機器状態(CONDITIONS)LED が橙色に点滅していることを確認してから、 「テスト」キーを離します。この状態で、本ソフトを使用して通信操作を行ってください。

なお、パソコンのシリアルポートの通信速度は設定ソフトによって自動的に設定されるため、特に設定する必要はありません。

DMA-T2X との通信操作中にパソコン上でシリアルポートを使用する他のソフトウェア(Tera Term 等)が起動していますと、 シリアルポートが競合して通信エラーが発生することがあります。

設定ソフトの使用中(シリアルポートを選択済状態)は、選択された同一のシリアルポートを使用する他のソフトウェアを起 動しないようにしてください。

Ηγυεγου

## 5 パラメータの新規作成(通信サービス/接続情報/メールアカウント設定ウィザード)

#### 5.1 使用する通信サービスを選択する

本ソフトをインストール後、初めて起動した際、および後述するメイン画面で「新規にパラメータを作成する」を選択した際、 下図の「新規作成画面」が表示されます。

最初に「1.通信サービス」の選択画面が表示されますので、DMA-T2X がメールの送受信を行う際に使用する通信サービスが moperaU であることを確認して「次ヘ>」ボタンをクリックしてください。

画面左下の「起動時にこの画面を表示する」にチェックを付けておくと、次回の本ソフト起動時にもこの画面が表示されます。 起動時に表示する必要が無い場合、チェックを外しておいて下さい。

新規作成	×
1.通信サービス → 2.接続情報 → 3.メール設定 → 4.設定完了	
使用する通信サービスを選択してください。 通信サービス ・ moperal	
□ 起動時にこの画面を表示する キャンセル 次へ >	

途中で設定をやめる場合、上記の画面の「キャンセル」ボタン、または画面右上の「X」ボタンをクリックする事で、設定を中止してメイン画面に移動します。

新規作成画面を使用して作成したパラメータは後ほど設定画面で変更する事が出来ますので、まだ決まっていない項目や、 よく分からない項目がありましたら、未入力のまま「次へ>」ボタンをクリックして先に進んでも構いません。

また、moperaU 以外の通信サービスを設定したい場合は弊社の営業窓口までお問い合わせください。

# 5.2 サーバーの接続情報を入力する

使用する通信サービスを選択すると、「2.接続情報」の入力画面が表示されますので、接続に必要な情報を入力して「次へ >」ボタンをクリックしてください。

以下の画面が表示されます。

moperaU 初期登録時に取得した「基本メールアドレス」、「基本情報 ID」、「基本情報パスワード」を入力してください。

新規作成	×
1.通信サービス → 2.接続情報 → 3.メール設定 → 4.設定完	7
以下の接続情報を入力してください。 「DMAのメールアドレス(moperaUサインアップ時の「基本メールアドレス」)	
 moperaUサインアップ時の「基本情報 ID」	-
└ moperaUサインアップ時の「基本情報 パスワード」	
□ 起動時にこの画面を表示する < 戻る 次へ	>



## 5.3 メール設定を入力する

接続情報を入力すると、「3.メール設定」の入力画面が表示されますので、DMA-T2X からメールを送信する相手のメール アドレスと、DMA-T2X がメール受信を実施する条件を入力して「次へ>」ボタンをクリックしてください。

以下のメール設定を入力してください。 	毎54文字り内の	メールアドレフ)ー	
	ANT THIN	× 10770X7	l
「メール受信」			
○ メール受信で1」(41)(40)			
<ul> <li>・ メール受信で1,41,401</li> <li>・ メール送信後に受信する</li> <li>・ 「1」時間「0」分ごとにメール受信を</li> </ul>	実施する(0時間	h 分~99時間59分	0
<ul> <li>○ メール受信を行する</li> <li>○ メール送信後に受信する</li> <li>○ 1 時間 0 分ごとにメール受信を</li> </ul>	実施する(0時間	h 分~99時間59分	1)
○ メール送信後に受信する ○ 1 時間 0 分ごとにメール受信を	実施する(0時間	┃1分~99時間59分	n
○ メール送信後に受信する ○ 【1】時間 [0] 分ごとにメール受信を	実施する(0時間	h 分~99時間59分	1)

# 5.4 設定を完了する

メール設定を入力すると、「4. 設定完了」画面が表示されます。

ここで「完了」ボタンをクリックすると、設定を完了してメイン画面に移動します。

この時点で、後述する設定画面のうち、「接続設定」、メール通信設定の中にある「プライマリ設定/セカンダリ設定/ター ナリ設定」、「POP サーバー設定」、「SMTP サーバー設定」について、接続に必要なパラメータが入力された状態になっていま す。

引き続き、設定メニューから DMA-T2X の本体動作、アナログ入力、接点入力の設定を行なってください。

参 新規作成	×
1.通信サービス ⇒ 2.接続情報 ⇒ 3.メール設定 ⇒ 4.設定完	7
これでメールの送受信についての設定は完了しました。	
「本体動作」、「接点入力」、「アナログ入力」に関する設定は、設定メニューの 該当する項目をクリックして表示される設定画面から行なってください。	
□ 起動時にこの画面を表示する < 戻る 完	7

# 6 画面説明

## 6.1 メイン画面

新規作成画面終了後、もしくは新規作成画面の「起動時にこの画面を表示する」にチェックを付けずに本ソフトを起動した際、最初に表示される画面です。

この画面で、「詳細なパラメータの設定」、「パラメータ作成方法の選択」、「DMA-T2X に保存されたパラメータの読み込み /書き込み」、「パラメータ保存方法の選択」などの操作を行います。



※「4. DMA-T2X の接続/設定/起動方法」項にある手順に基づいて起動・接続してある場合に、本ソフトは DMA-T2X と通信できます。



ſ

### 6.1.1 メニューバー

🖉 DMA設	定ソフト (fo	or DMA-T2X)			メニューバー
ファイル(F)	通信(C)	メンテナンス(M)	シリアルポート選択(P)	情報(A)	

メニューバー内の項目をクリックすることで、以下の操作を行うことができます。

項目		内容
	新規作成	新規作成画面を使って基本的なパラメータを設定します。
ファイル	開く	パラメータを保存したファイルを開いて内容を読み込みます。
	上書き保存	読み込んだファイル(保存済みパラメータ情報)に対して上書き保存します。 編集モードが「新規作成」、「DMA-T2X パラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
	名前を付けて保存	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
	終了	本ソフトを終了します。 ※パラメータが変更されている場合、ソフトを終了する前に終了確認ダ イアログを表示します。
通信	<b>パラメータ読み込み</b> (※1)	DMA-T2X からパラメータを読み込みます。
	パラメータ書き込み	DMA-T2Xに対し、設定したパラメータを書き込みます。
	現在入力値読み込み	DMA-T2X の現在入力値/動作状態(モード/警報情報)を読み出して表示します。
	システムログ読み込み	DMA-T2X のシステムログを読み出して表示します。
	日時情報設定	DMA-T2Xの時計情報を読み書きできます。
	パラメータ初期化	DMA-T2X のパラメータを工場出荷時の状態に戻します。
メンテナンス (※1)	パルス入力カウント変更	DMA-T2X のパルス入力カウントの初期値を変更します。
(///1/	本体再起動	DMA-T2X を再起動させます。
	moperaU 登録変更	DMA-T2X の moperaU 登録変更モードを起動します。
	本体 FW バージョンアップ	DMA-T2X の本体ファームウェアをバージョンアップさせます。
	UIM カード電話番号読み 込み	DMA-T2X の UIM カード電話番号を読み出して表示します。
シリアル ポート選択		パソコンのシリアルポートの中から使用可能なポート番号を読み込み、
	使用中ポート	DMA-T2X と接続するポートを選択します。
	読み込み	(※本ソフトが扱えるボート番号の上限は16です。)
		(※・約30) C 使用 9 る C ご い O S B 通信 7 一 フルを変更した C ざ 」は、 選択 操作しないと DMA-T2X と通信できません。)
情報	バージョン情報	本ソフトのバージョン情報をダイアログで表示します。

※1 一部のメンテナンス操作については、DMA-T2X を通常起動させた状態(運用中)でもご利用いただけます。 (エラーが発生して上手く通信できない場合、原因を特定するヒントを得るために例えばシステムログなどを読み出

します。)

# 6.1.2 ツールバー

ツールバー内のアイコンをクリックすると、以下の操作を行います。

アイコン	名称	内容
	新規にパラメータを作成する	新規作成画面を使ってパラメータを設定します。 (※「5 項」参照)
<b>1</b>	保存したファイルを開く	パラメータを保存してあるファイルを開き、内容を読み込みます。
	ファイルに上書き保存する	読み込んだファイル(保存済みパラメータ情報)に対して上書き保存します。 編集モードが「新規作成」、「パラメータ読み込み」の場合は、新しいファイルを作成して保存します。
+	DMA からパラメータを読み込む	DMA-T2X からパラメータを読み込みます。
+	DMA にパラメータを書き込む	DMA-T2X に対し、設定したパラメータを書き込みます。



#### 6.1.3 設定メニュー

詳細なパラメータ設定を行う項目(画面)を選択します。

- 設定メニュー内の項目をクリックすると、画面右側の表示が切り替わり、選択した項目の設定画面が表示されます。
   設定画面ごとの設定項目(内容)については、「6.2 項」からの説明を参照してください。
- 設定メニューの先頭にある「(新規作成)」をクリックすると、画面右側に「作成メニュー」と「保存メニュー」が表示されま す。(下記画面参照)

🚷 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)		30-10		×
ファイル(E) 通信( <u>C</u> ) メンテナンス( <u>M</u> ) シリアルポ	-ト選択( <u>P)</u> 情報( <u>A</u> )			
設定メニュー	編集モード 変更なし			
(新規作成)	新規作成			
由 接続	作成メニュー			
→ メール送信   → メール受信				
日-本体動作	◎ 新規にパラメータを作成する			
由一接点入力				
	🚰 保存したファイルを開く			
	★、パラメータを読み込む			
	保存メニュー			
	ファイルに上書き保存する			
	○ 名則を付けてノアイルに保存9る			
	同 パニッ クちまさいわ			
				-
		ΗΔΠ	ERC	
1		cup://www	r.naneron	com/

(作成メニュー/保存メニューを表示した時)

🧐 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	- 🗆 X
ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M) シリン	アルボート選択( <u>P</u> ) 情報( <u>A</u> )
設定メニュー	編集モード変更なし
(新規作成)	新規作成
日日接続	接続設定
由ーセカンダリ	接続失敗時! トライ   3回  ▼
由ーターナリ	
メール受信	
中 本体動作	<u>通信方式</u> (・メール
田─接点人刀    由アナログ入力	常時接続先APN情報 mopera.net
	常時接続認証方式 ○ 認証なし ○ PAP ④ CHAP(MD5)
	常時接続ユーザー名 a
	常時接続バスワード *

(設定項目選択に伴う設定画面を表示した時の例)

#### 6.1.4 編集モード

現在の編集モードを表示します。

● 作成メニューから選択した編集方法によって、以下のように表示が切り替わります。

(新規作成時)	
編集モード	変更なし
新規作成	
(保存したファイルを読み込んだ時)	
編集モード	変更なし
既存ファイル(C: ¥ DMA-T2X.txt)	
(DMA-T2X からパラメータを読み込んだ時)	
編集モード	変更なし
監視装置バラメータ読み込み(ファ	マームウェア Ver.2.08.1)

● 設定画面でパラメータの設定値を変更した場合、編集モード右側の「変更なし」の表示が「変更あり」に切り替わります。

(パラメータ設定値が変更された時)

編集モード	変更あり
新規作成	

### 6.1.5 作成メニュー

パラメータ設定を行う際、元になる設定値の作成方法を選択します。



名称	内容
新規にパラメータを作成する	新規作成画面を用いて、基本的なパラメータ設定から開始します。
保存したファイルを開く	パラメータを保存してあるファイルを開き、内容を読み込みます。
パラメータを読み込む	DMA-T2X からパラメータを読み込みます。

### 6.1.6 保存メニュー

設定したパラメータをファイル、または DMA-T2X に保存する方法を選択します。



名称	内容
	読み込んだファイル(保存済みパラメータ情報)に対して、設
	定したパラメータ内容を上書き保存します。
ノアイルに工旨で体行する	編集モードが「新規作成」、「パラメータ読み込み」の場合は、
	新しいファイルを作成して保存します。
名前を付けてファイルに保存する	新しいファイルを作成して、設定したパラメータを保存します。
パラメータを書き込む	DMA-T2Xに対して、設定したパラメータを書き込みます。

## 6.2 設定画面

## 6.2.1 接続設定

設定メニューの「接続」をクリックすると表示される画面です。

● 「接続失敗時リトライ」「リトライアウト判定時間」など、接続動作全般に関するパラメータを設定します。

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	
ファイル(F) 通信(C) メンテナンス(M)	シリアルボート選択(P) 情報(A)
□□●□■□ 設定メニュー	編集モード 変更なし
(新規作成)	新規作成
日 1000000 由 ブライマリ	接続設定
田	接続失敗時リトライ   3回 ▼
■	
■ 由本体動作 ■ 由接点入力	通信方式。 でメール 常時接続先APN時報
由アナログ入力	常時接続認証方式 C 認証なし C PAP C CHAP(MD5)
	常時接続ユーザー名 a
	常時接続バスワード     *
名称(初期值)	
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回) タイムアウト判定時間(1分)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回) タイムアウト判定時間(1分)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回) タイムアウト判定時間(1分) 通信種別(メール)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。 ※明示するため表示しています。
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回) タイムアウト判定時間(1分) 通信種別(メール)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。 ※明示するため表示しています。 LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。
名称(初期値) 接続失敗時リトライ(3回) タイムアウト判定時間(1分) 通信種別(メール) 常時接続 APN 情報	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。 ※明示するため表示しています。 LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。 ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。 ※明示するため表示しています。 LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。 ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。 ※初期値をそのままご使用ください。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)	内容 回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。 ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの 応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。 DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。 ※明示するため表示しています。 LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。 ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。 ※初期値をそのままご使用ください。 回線常時接続時の認証方式を選択します。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)         常時接続認証方式(CHAP)	内容         回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。         ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの         応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。         DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。         ※明示するため表示しています。         LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。         ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。         ※初期値をそのままご使用ください。         回線常時接続時の認証方式を選択します。         ※初期値をそのままご使用ください。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)         常時接続認証方式(CHAP)	内容           回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。           ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの           応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。           DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。           ※明示するため表示しています。           LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。           ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時の認証方式を選択します。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)         常時接続認証方式(CHAP)         常時接続ユーザー名(a)	内容           回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。           ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの           応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。           DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。           ※明示するため表示しています。           LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。           ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。           ※初期値をそのままご使用ください。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)         常時接続認証方式(CHAP)         常時接続ユーザー名(a)	内容           回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。           ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの           応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。           DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。           ※明示するため表示しています。           LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。           ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。
名称(初期値)         接続失敗時リトライ(3回)         タイムアウト判定時間(1分)         通信種別(メール)         常時接続 APN 情報 (mopera.net)         常時接続認証方式(CHAP)         常時接続ユーザー名(a)         常時接続パスワード(b)	内容           回線接続や通信失敗時のリトライ回数を設定します。           ダイヤルアップ接続時、サーバー接続時、および通信時にサーバーからの応答が無い場合にタイムアウトエラーと判定するまでの時間を設定します。           DMA-T2X が通信方式がメールのみとなっています。           ※明示するため表示しています。           LTE 網への常時接続に使用する APN 情報を設定します。           ※半角英数字、「-」、「.」(ピリオド)のみ使用可能です。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。           ※初期値をそのままご使用ください。           回線常時接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。           ※初期値をそのままご使用ください。

## 6.2.1.1 プライマリ/セカンダリ/ターナリ設定

メール通信用プロバイダとして最大3ヶ所まで設定できますが、通常は「プライマリ設定」(1ヶ所)に 設定してご利用ください。

接続設定を選択した際、設定メニューの「プライマリ設定」「セカンダリ設定」「ターナリ設定」の何れかをクリックする と表示される画面です。

● メール送信するための接続先の APN や接続認証の方式など、回線接続に必要となるパラメータを設定します。

ファイル(F) 通信(C) メンテナンス(M) シリ	アルポート選択(P) 情報(A)					
DMA-T2X (Ver.4.08.0)						
ー						
- 送信(SMTP)サーバー - 送信(SMTP)サーバー 運行(ZOO)サーバー - 送信元メールアドレス http://www.ikkm.ct.1223/g260my@mopera.i(例:xxx@yyyzz)						
ー 受信(POP) り ー ハー 田- セカンダリ	OPEN綱の時、自己IPアドレスは「0.0.0.0」を指定してください。					
■						
	接続死APN情報 mopera.net 接続初年ナポー C 初年たり C DAD C CHAD(MDS)					
由-接点入力						
	パスワード *					
	DNSサーバー ・ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する					
	C 以下のDNSサーバーのアドレスを使用する					
L						
1.						
名称(初期値)	内容					
名称(初期値) 						
名称(初期值) 	内容 DMA-T2Xのメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APNI 信 (monera not)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a) パスワード(b)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a) パスワード(b)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a) パスワード(b)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 カール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。					
名称(初期値) 送信元メールアドレス(空白) 自己 IP アドレス(0.0.0.0) 接続先 APN 情(mopera.net) 接続認証方式(CHAP) ユーザー名(a) パスワード(b) DNS サーバー(自動取得)	内容 DMA-T2X のメールアドレスを設定します。「xxx@yyy.zz」のようなメール アドレス形式で入力してください。 ※このアドレスは moperaU 契約時の基本メールアドレスとなります。 ※端末ごとにメールアドレスが重ならないように設定してください。 DMA-T2X の IP アドレスを設定します。※「0.0.0.0」としてください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のユーザー名を設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時に認証を実施する場合のパスワードを設定します。 ※初期値をそのままご使用ください。 メール回線接続時の認証方式を選択します。 ※初期値をそのままご使用ください。 DNS サーバーの IP アドレスを通信網への接続時に自動的に取得する か、指定した IP アドレスを使用するか選択します。※初期値をそのままご					



6.2.1.1.1 送信(SMTP)サーバー設定

「プライマリ」を選択した後、設定メニューの「送信(SMTP)サーバー」をクリックすると表示される画面です。

▶ メール送信に使用する送信(SMTP)サーバーのパラメータを設定します。





6.2.1.1.2 受信(POP)サーバー設定

「プライマリ」を選択した後、設定メニューの「受信(POP)サーバー」をクリックすると表示される画面です。

● メール受信に使用する受信(POP3)サーバーのパラメータを設定します。

(※本画面の「アカウント名」「パスワード」は、「SMTP 認証」方式で通信する際にも同じものを使用します。)



#### 6.2.2 メール送信設定

設定メニューの「メール送信」をクリックすると表示される画面です。

メール送信時の接続先(選択)と、メール送信先のアドレスリスト(№1~Max10まで)を設定します。
 (※下記はアドレス帳の位置づけであり、イベントごとに送信先№を任意に選択してください。)
 (※設定後は、対象のアドレスへメールが届くことを必ず動作確認してください。)

💮 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)						
ファイル(E) 通信(C) メンテナン □ 2 □ 2 □ 2 □ 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ス(M) シリアルポート選択(P) 情報(A) 編集モード 変更あり DMA-T2Xパラメータ読み込み(ファームウェア Ver.4.08.0) メール送信設定					
<ul> <li>→ 本体動作</li> <li>由-接点入力</li> <li>由-アナログ入力</li> </ul>	サーパーが空白(未設定)の場合、送信サーパーとして選択できません。         送信サーパー選択       マライマリ       サーパー       mail.nopera.net         ロ       セカンダリ       サーパー       mail.mopera.net         ロ       ターナリ       サーパー       mail.mopera.net         送信先アドレス       1       rmtsuk1@haneron.mol.jp       2         3       4					
L名称(初期值)						
	メール送信の際に接続する送信(SMTP)サーバーを選択します。					
(プライマリを選択)	※初期値をそのままご使用ください。					
	アドレス帳として、相手先メールアドレスを最大10件まで設定できます。					
送信先メールアドレス	※メール受信を行う場合、アドレス帳に登録された相手先から受信したメール					
(空白)	のみを有効なメールとして受け付けます。(ホワイトリスト機能)					
	登録外のアドレスから受信したメールは読み捨てます。					



#### 6.2.3 メール受信設定

設定メニューの「メール受信」をクリックすると表示される画面です。

● メール受信の接続先(選択)と、受信方法の選択を行います。

(※設定後は、DMA-T2X が制御メールを受信⇒返信できることを必ず動作確認してください。)

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	
ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M)	) シリアルボート選択( <u>P</u> ) 情報( <u>A</u> )
DMA-T2X (Ver.4.08.0) □ ご	編集モード       変更あり         DMA-T2XX5メータ読み込み(ファームウェア Ver4080)         メール受信設定         ウーバーが空白(未設定)の場合、受信サーバーとして違択できません。         受信サーバー違択       ・ ブライマリ       サーバー         アカウント       wail.mopera.net         アカウント       ジェール送信後にメール受信を実施しない         ・       ・         ・       wail mopera.net         アカウント       ・         ・
名称(初期値)	内容
受信サーバー選択	メール受信の際に接続する受信(POP)サーバーを選択します。
(プライマリを選択)	※初期値をそのままご使用ください。
送信後の受信処理 (送信後の受信を実施しない)	何らかのイベントが発生したメールを送信した後に、引き続きメール受信(新着 メール問合せ)を実施するかどうかを選択します。 ※DMA-T2X に制御メールを送信したい場合は必要に合せて設定してください。
定期的な受信処理 (定期的な受信を実施しない)	定期的にメール受信(新着メール問合せ)するかどうか選択します。定期的に受 信する場合は、実施間隔を設定します。 ※DMA-T2X に制御メールを送信したい場合は必要に合せて設定してください。

【DMA-T2X 宛ての制御メールについて】

- DMA-T2X 宛てに送信するメールの本文(先頭行)に特定の文字列を入力することで、制御メールとして扱われるようになります。
  - DMA-T2X は受信した制御メールに対する結果を送信元へのみメール返信します。
- 入力できる制御文字列として、「入力情報読出」「パラメータ読出」などがあります。



#### 6.2.4 本体動作設定

設定メニューの「本体動作」をクリックすると表示される画面です。

ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M) シリアルポート選択(P) 情報(A) □ 😰 🛃 🔸 🕈
設定メニュー         編集モード         変更なし           ● 接線 -メール送信 -メール受信         新規作成         新規作成           ● 中导刺通作         ● 守電/復電通報         000000           ● 子馬湖通報         ● テスト送信         ● 支点入力           ● 支点入力         ● フナログ入力         ○ 自動解除しない © 24 時間 ○ 分経過で解

名称(初期值)	内容
装置情報 (000000)	DMA-T2X を複数台お持ちの場合、対象装置を識別(切り分け管理)するための情報 をパラメータとして登録しておくことができます。
	※本情報は DMA-T2X から通報されるイベントメールの本文 1 行目に記載されます。
パラメータバージョン	パラメータを示す番号でメモとしてご利用ください。 ※ご利用がなければ、初期値をそのままご使用ください。
(0000)	※本情報は DMA-T2X から通報されるイベントメールに記載されません。
通報過多ロック解除	通報過多検出された場合の解除方法を設定します。
(24 時間経過で解除) 	※通報過多検出を利用しない場合は、初期値をそのままご使用ください。

#### 【通報過多検出について】

・一定時間内に一定回数分の入力変化(接点/アナログ)通報を行った場合に、通報過多状態発生と判断し、「当該 ch の入力変化の監視機能」を一時的に停止(ロック)させる機能です。

・上記の停止状態は、「自動復帰時間経過」「テストキー操作」「電源 OFF」によって解除されます。

# 6.2.4.1 時刻補正設定

設定メニューの「時刻補正」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X の時刻補正の実施条件(実施の有無、実施間隔)を設定します。 (※DMA-T2X が起動した際の時刻取得は、本設定に関係なく実施します。)

特別な理由がなければ、設定値は画面のまま(15日)にしてください。

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	
ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M) :	シリアルポート選択( <u>P)</u> 情報( <u>A</u> )
設定メニュー	編集モード 変更なし
(新規作成)	新規作成
□ <u>由</u> 接続	時刻進工設党
メール送信	•中初fm止放足
↓ ☆☆☆ 小 ▽ 18	■時刻補正実施
	LTEモジュールから時刻取得するため、UIMカードを挿入し、正しく通信パラメー
由…停電/復電通報	タを設定したうえ、電波的よい場所で行う必要があります。
田一定期通報	
□ <u>由</u> 接点入力	
由…アナログ入力	



# 6.2.4.2 停電/復電通報設定

設定メニューの「停電/復電通報」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X の停電時、および復電(停電からの復旧)時の動作を設定します。 (※DMA-T2X は停電動作用の電池を内蔵しており、停電動作後にシャットダウンします。)

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T	2X)				
ファイル(E) 通信( <u>C</u> ) メンテ	ナンス( <u>M</u> ) シリアルポート選択( <u>P</u> ) 情報( <u>A</u> )				
<u>設定×ニュ</u> ー ;──(新規作成)	<u>編集モート</u> 変更なし 新規作成				
□ ···· 接続	停電/復電通報設定				
メール送信	   停電検出タイマー   1.0 秒以上の停電時に停電を検出する				
│	停電通報実施選択 • 停電通報しない • 停電通報する				
白停電/復電通報	停電通報送信後に復電した場合のみ復電通報が送信されますので、停電通 報を実施しない場合は復電通報が実施されません。				
	復電検出タイマー 1.0 秒以上の復電時に復電を検出する				
	<b>復電通報実施選択 © 復電通報しない ©</b> 復電通報する				
名称(初期值)	内容				
	DMA-T2Xへの電源供給が冷絶えた際、停電状能発生と判断するまでの時間を設定				
停電検出タイマ					
(1秒)	しより。				
信雨飞却中步溜中					
停電週報美施選択	停电C刊町しに除し作車1ヘントを进取9 るかとつか選択しより。				
(通報しない)	※必要に合わせて値を設定してください。				
復電検出タイマ	停電と判断した後にDMA-T2X への電源供給が再開した際、復電(停電からの復旧) 				
(1秒)	状態発生と判断するまでの時間を設定します。				
	※必要に合わせて値を設定してください。				
<b>省</b> 電涌	復電と判断した際に復電イベントを通報するかどうか選択します。				
後电世報天旭迭抓	※停電イベントを検出(通報)しない場合、復電イベントは通報されません。				
(進報しない)	※必要に合わせて値を設定してください。				



#### 6.2.4.2.1 停電通報送信設定

設定メニューの「停電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X が停電イベントとして通報(送信)する際の「件名」「本文メッセージ」「送信先アドレス」を設定します。(※ 「件名」内容はメールのヘッダ(Subject)に記載します。)



6.2.4.2.2 復電通報送信設定

設定メニューの「復電通報送信」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X が復電(停電からの復旧)イベントとして通報(送信)する際の「件名」「本文メッセージ」「送信先アドレス」を 設定します。

(※「件名」内容はメールのヘッダ(Subject)に記載します。)



## 6.2.4.3 定期通報設定

設定メニューの「定期通報設定」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X から一定周期ごとに送信する定期通報イベントの設定を行います。





#### 6.2.4.3.1.1 定期通報 A 送信設定

設定メニューの「定期通報 A 送信」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X が定期通報 A イベントとして通報(送信)する際の「件名」「本文メッセージ」「送信先アドレス」を設定します。 (※「件名」内容はメールのヘッダ(Subject)に記載します。)





#### 6.2.4.3.1.2 定期通報 B 送信設定

設定メニューの「定期通報 B 送信」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X が定期通報 B イベントとして通報(送信)する際の「件名」「送信先アドレス」を設定します。 (※「件名」内容はメールのヘッダ(Subject)に記載します。なお、期通報 B イベントにおいては「本文メッセージ」の設定 ができませんのでご注意ください。)



# 6.2.4.4 テスト送信設定

設定メニューの「テスト送信」をクリックすると表示される画面です。

● DMA-T2X がテスト送信として通報(送信)する際の「件名」「本文メッセージ」「送信先アドレス」を設定します。

(※「件名」内容はメールのヘッダ(Subject)に記載します。)

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)					
ファイル( <u>E</u> ) 通信( <u>C</u> ) メンテナンス( <u>M</u> )	シリアルポート選択( <u>P</u> ) 情報( <u>A</u> )				
設定メニュー	編集モード 変更なし				
┃  ──(新規作成) ─────────────────────────────────	新規作成				
メール送信	テスト送信設定				
メール受信    □本休動作	件名 SUBSW				
- 時刻補正	本文メッセージ				
□□□□···停電/復電通報 □□□□□定期通報	送信先アドレス 1(未登録)				
	(*2(小豆(*))) マ3(未登録)				
田──接点ヘ刀    由──アナログ入力	▼ 4 (未登録)				
	✓ 5 (未登録)   ✓ 6 (未登録)				
	▼ 7 (未登録)				
	▼ 8 (未登録)				
	● 9 (未登録)				
名称(初期値)	内容				
	テスト送信の件名に記載される内容を設定します。				
件名(SUBSW)	※変更したい場合、全角10文字、半角20文字以内に設定してください。				
	テスト送信の本文に付加される内容を設定します。				
本文メッセージ(空白)	※設定したい場合、全角 32 文字、半角 64 文字以内に設定してください。				
	テスト送信の送信先アドレス(Max10件)を選択します。				
	ノヘビム信の这信元ノドレヘ(Maxio 件)を迭折しまり。				
Line and the second sec	※ $\pi$ T と I と I と I い い い い い い い い い い い い い い				
送信先アドレス(すべて選択)	※変更」たい提合、チェックボックスを選択したおしてください				
送信先アドレス(すべて選択) 	※変更したい場合、チェックボックスを選択しなおしてください。				



#### 6.2.5 接点入力設定

設定メニューの「接点入力」をクリックすると表示される画面です。

設定済みの接点入力動作に関する一覧表を表示します。



#### 6.2.5.1 DI 動作設定

設定メニューの「DI01動作」から「DI10動作」の何れかをクリックすると表示される画面です。 DMA-T2Xの接点入力の検出条件や通報条件に関する設定を行ないます。



# DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)操作説明書

# ΗΔΠΕΡΟΠ

名称(初期值)	内容
通報条件 (ON、OFF 時とも通報する)	入力タイプが「接点入力」の時、接点状態が変化した際のイベント通報を実施す るかどうかを選択します。 ※必要に合わせて選択してください。
リピート送信	入力タイプが「接点入力」の時、「ON 時」のイベント通報後、「ON」状態が一定時
(ON 時、OFF 時)	間継続した際にイベント通報を再送信するかどうか設定します。
(送信しない)	※必要に合わせて選択してください。必要がなければそのままにしてください。
	入力タイプが「接点入力」の時、「ON 時」、もしくは「OFF 時」のイベント通報が一
通報過多ロック	定時間以内に一定回数以上送信された場合、通報停止状態(通報過多ロック状
(無効)	態)にするかどうか設定します。
	※必要に合わせて選択してください。必要がなければそのままの設定にします。

# 6.2.5.1.1.1 DI 送信設定

設定メニューの「DI01 送信」から「DI10 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2Xの接点入力状態に応じて発生する各イベント(ON時、OFF時)通報時の「件名」「本文メッセージ」「送信 先アドレス」を設定します。

(※) DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	
ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M)	シリアルポート選択(P) 情報(A)
プライル(E) 通信(E) メクテラン人(M)     設定メニュー     (新規作成)     日接続     ・メール送信     ・メール受信     ・ホー時刻補正     日-停電通報送信     ・「停電通報送信     日-定期通報     ・「字電通報送信     日-定期通報     ・テスト送信     日-定期通報     ・テスト送信     日-2013動作     日-D102動作     日-D105動作     日-D105動作     日-D105動作     日-D105動作     日-D109動作     日-D109動作     日-D110動作     日-アナログ入力	編集モード       変更なし         新規作成       ON時 OFF時         ON時 OFF時       SUBON1         本文メッセージ       1 (未登録)         2 (未登録)       3 (未登録)         6 (未登録)       6 (未登録)         7 (未登録)       9 (未登録)         9 (未登録)       10 (未登録)
名称(初期值)	内容
件名	
(SUBON*)	DI 送信の件名に記載される内容を設定します。
(SUBOFF*)	※変更したい場合、全角10文字、半角20文字以内に設定してください。
※*は 01~10 の CH 番号です	
本文メッセージ(空白)	DI送信の本文に付加される内容を設定します。 ※設定したい場合、全角 32 文字、半角 64 文字以内に設定してください。
送信先アドレス(選択なし)	<ul> <li>D 送信 I の送信先アドレス(Max10 件)を選択します。</li> <li>※登録した番号を選択してご利用ください。</li> <li>※未登録の番号を選択した場合、その番号には送信されません。</li> </ul>



# 6.2.6 アナログ入力設定

設定メニューの「アナログ入力」をクリックすると表示される画面です。

設定済みのアナログ入力動作に関する一覧表を表示します。

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)								
ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M) シ	リアルポート選択( <u>P</u> )	·情報( <u>A</u> )						
設定メニュー	編集モ			変更な	1			
(新規作成)	新規作成							
(日) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	アナログス	力設定	-					
メール送信		VZ JUXAE						
「「一本体動作	「アナログ入力設	定一覧	uu (5 7	/#/\\	_	88/+ 0 )3	K + a /a //4	
時刻補正	計測項	目情報	山 シイマーク	(19) 复唱	下下限	國1進&進 下限	単報余1千 ト限	
白ー停電/復電通報		<del></del>		ж/ <b>т</b>	200	300	600	999
復電通報送信	AI01	1	1	U	-	-	-	_
田定期通報	AT02	ſ	1	n	200	300	600	999
					-	-	-	-
	AIO3	0	)	0	200	300	500	999
由—AIO1 動作					200	300	600	999
田AIO2動作 中 AIO3動作	A104	l	J	U	-	-	-	-
由AIO3動TF 由AIO4動作			×77		1// 54			
J								



### 6.2.6.1 AI 動作設定

設定メニューの「AI01動作」から「AI04動作」をクリックすると表示される画面です。



# ΗΔΠΕΡΟΠ

名称(初期値)	内容
	10bit のアナログ入力(A/D 値=0~1023)範囲に対し、工業値としてスケール
オノセット	変換する際の下限範囲値を設定します。
(0)	※「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能です。
	※ご使用されるセンサーの測定範囲(MIN 値)に合わせて設定してください
	10bit のアナログ入力(A/D 値=0~1023)範囲に対し、工業値としてスケール
	変換する際の上限範囲値を設定します。
(0)	※この項目の小数点以下の桁数が、スケール変換後のデータの小数点以下 の桁数になります。
	※「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能です。
	※ご使用されるセンサーの測定範囲(MAX 値)に合わせて設定してください
	変換後のアナログ入力値に対する閾値を設定します。
關値	通報条件の設定に応じて、入力値が閾値を超過した時、もしくは閾値以下に
(999)※上上限	なった時にアナログ入力異常イベントを検出して、通報します。
(600)※上限 (300)※下限	※「上上限閾値≧上限閾値≧下限閾値≧下下限閾値」、および「オフセット≦
(200)※下下限	閾値≦フルスケール」になるように設定してください。
	※「-」(マイナス)、「.」(小数点)、「0~9」(数字)のみ使用可能です。
	※通報したいレベルに合わせて設定してください
	アナログ入力異常イベント通報後、同じレベルの異常イベントを再検出するた
復帰値	めの復帰値を設定します。
(999)※上上限 (600)※上限	※復帰を検出するまでは、閾値をオーバーしても異常イベントとして検出しま
(300)※下限 (200)※下下限	270。 ※「トト阳復帰値>ト阳復帰値>下阳復帰値>下下阳復帰値」 なとが「ナ
	フセット≦復帰値≦フルスケール」になるように設定してください。
	※通報したいレベルに合わせて設定してください
	アナログ入力値が変化した際のイベント通報を実施するかどうかを選択しま
通報条件	す。
(通報しない)	※通報したい項目を設定してください。
	※通報したくない項目はそのままにしてください。
	「異常時」、もしくは「復帰時」のイベント通報が一定時間以内に一定回数以上
	送信された場合、通報停止状態(通報過多ロック状態)にするかどうか設定し
通報道多ロック	ます。
(無効)	※ロック状態の解除条件は本体動作設定で設定します。
*	※本機能を利用しない場合はそのままにしてください。

# 6.2.6.1.1 AI 送信設定

設定メニューの「AI01 送信」から「AI04 送信」をクリックすると表示される画面です。

DMA-T2X のアナログ入力状態に応じて発生する各イベント通報時の「件名」「本文メッセージ」「送信先アドレス」を 設定します。

<ul> <li>② DMA設定ソフト (for DMA-T2X)</li> <li>ファイル(E) 通信(C) メンテナンス(M) シリ</li> <li>□ ご □ ● ●</li> <li>         設定メニュー         <ul> <li>(新規作成)</li> <li>● 接続</li> <li>→ ノル送信</li> <li>→ ペール受信</li> <li>● 本体動作</li> <li>● 時刻補正</li> <li>□ 停電通報送信</li> <li>□ 伊電通報送信</li> <li>□ 伊電通報送信</li> <li>□ 一定期通報</li> <li>□ テスト送信</li> <li>■ 一方スト送信</li> <li>■ 一和01 動作</li> <li>■ AI03 動作</li> <li>由 AI04 動作</li> </ul> </li> </ul>	アルボート選択(P) 情報(A)         編集モード 変更なし         新規作成         AO1送信設定         上上限 下限 下下限         上上限 下限 下下限         上上限 素通報         作名 [SUBADHHON1]         本文メッセージ         上上限 (本登録)         (本登録)         (本登録)         (本登録)         (未登録)         (未登録)         (未登録)         (本登録)         (小者登録)		
L名称(初期值)			
件名			
(SUBADHHON*)※上上限異常			
(SUBADHHOFF*)※上上限復帰			
(SUBADHON*)※上限異常			
(SUBADHOFF*)※上限復帰	AI 送信の件名に記載される内容を設定します。		
(SUBADLON*)※下限異常	※変更したい場合、全角10文字、半角20文字以内に設定してください。		
(SUBADLOFF*)※下限復帰			
(SUBADLLON*)※下下限異常			
(SUBADLLOFF*)※下下限復帰			
※*は 01~04 の CH 番号です			
	AI 送信の本文に付加される内容を設定します。		
キスプツセーン(空日)	※設定したい場合、全角32文字、半角64文字以内に設定してください。		
	AI送信の送信先アドレス(Max10件)を選択します。		
送信先アドレス(選択なし)	※登録した番号を選択してご利用ください。		
	※未登録の番号を選択した場合、その番号には送信されません。		

# 6.3 メンテナンスメニュー

本ソフトは、「パラメータの読み書き」機能以外にも、DMA-T2Xの運用時に役立つ各種メンテナンス操作用の機能を有しています。

- メニューバーにある「メンテナンス」をクリックすると、利用できるメンテナンス機能の一覧(メンテナンスメニュー)が表示され ます。
- 各メンテナンス機能の内容について、「6.3.1」~「6.3.9」項で説明します。





### 6.3.1 現在入力値読み込み

メンテナンスメニューの「現在入力値読み込み」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

🥘 現在入力値表示							X
日時情報 20 「接点入力	020/01/24 15:	59:26	I				i
DI01 OFF	DI02 OFF	DIO3	OFF	DIO4	OFF	DI05	OFF
DI06 OFF	DI07 OFF	DI08	OFF	DI09	OFF	DI1 0	OFF
リレー現在状態	<b>族</b> ————————————————————————————————————						
	リレー2 <mark></mark>	FF					
「バルスカウント	積算値						
PIO1 0	PI02	0	PIO3	0	PI04		0
PI05 0	PIO6	0	PI07	0	PI08		0
PI09 0	PI10	0					
「バルスカウント	累積値						
PIO1 0	PI02	0	PIO3	0	PI04		0
PI05 0	PIO6	0	PI07	0	PI08		0
PI09 0	PI10	0					
「アナログ入力値	t						
AIO1 1	AIO2	1	AIO3	1	AI04		1
システムモード							
監視屮	t F						
	ф.						
3121. 通电	T						
4							•
	100-000	1					
	再読み込	み		閉じる			

- DMA-T2X から以下の情報を読み込んで表示します。
  - ・日時情報
  - ・接点入力状態
  - ・リレー現在状態
  - ・パルスカウント積算値
  - ・パルスカウント累積値
  - ・アナログ入力値
  - ・DMA-T2X の動作モード(システムモード)
  - ・システム監視情報(SV 情報)
- この画面を開いている間は、5秒ごとに現在入力値を再読み込みして表示情報を更新します。
   (※再読み込み中は「閉じる」ボタンが無効になりますので、画面を閉じる際はご注意ください。)

## 6.3.2 システムログ読み込み

メンテナンスメニューの「システムログ読み込み」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

0	動作履歴ログ表示			×
	日時:01/24 09:07 日時:01/24 09:07 日時:01/24 09:07 日時:01/24 09:08 日時:01/24 09:08 日時:01/24 09:14 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15 日時:01/24 09:15	$\begin{array}{c} \Box & \Box & \Box & \Box \\ \Box & \Box & \Box & \Box \\ \Box & \Box &$	付加情報: 0×0010 付加情報: 0×0100 付加情報: 0×0000 付加情報: 0×0004 付加情報: 0×0001 付加情報: 0×0001	<ul> <li>モジュールATコマンド初期設定</li> <li>トル起動完了状態</li> <li>時刻合結成功</li> <li>このわせ成功</li> <li>した成功</li> <li>した成功</li> <li>した成功</li> <li>このの方法</li> <li>このの方</li></ul>
		ファイル	し保存 閉じる	

- DMA-T2X から読み込んだ動作履歴(ログ情報)を表示します。
   (最大 100 件分の動作履歴を、ログ保存された順に表示します。)
- ●「DMA-T2X の内蔵時計が設定(補正)できていない状態」もしくは「DMA-T2X の起動直後」に履歴登録された場合、
   日時情報が「00 日 00:00」となります。
- ●「ファイル保存」ボタンを押すと、表示されている動作履歴内容を csv ファイルに保存できます。

### 6.3.3 日時情報設定

メンテナンスメニューの「日時情報設定」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

 ● 設定する日時として「パソコンの日時(時計) ⇔ 入力した日時(任意の日時)」の何れかを選択して「設定」ボタンを押 すと、DMA-T2Xの時計(内蔵の時計 IC)に時刻を書き込みできます。

🍪 日時情報設定	No.	Rest.	×
e <u>パンコンの</u>	日時と同期する	5 2020/01/2	8 17:09:53
© 入力した E	時に設定する		
20 20 年	1 月 28	日 17 時 9	分 47 秒
	設定	閉じる	

- ご購入いただいた直後の DMA-T2X は、内蔵の時計 IC に時刻が設定されておりません。
   そのため、本機能を用いて時計 IC の初期設定を行うようにしてください。
   (パラメータ設定いただく際に、DMA-T2X の時計についても設定してください。)
- 時計の初期設定を実施せずに DMA-T2X を通常起動した場合は、起動後に時計 IC(RTC)のバックアップ異常が 検出されます。

なお、通常起動後に監視状態へ移行する前に「自動的に時刻情報を取得して時計 IC を補正」しますので、上記の バックアップ異常状態は自動的に解消されます。



## 6.3.4 パラメータ初期化

メンテナンスメニューの「パラメータ初期化」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

●「はい」をクリックすると、DMA-T2X内の登録済みパラメータが工場出荷時の内容に戻ります。

パラメータの初期化	x
	二場出荷時の状態に戻します。
	(おい(Y) いいえ(N)

- 本操作は、「4項」にある手順で DMA-T2X を起動させている状態(設定用のモード)でのみ利用できます。
- パラメータを初期化すると、「パルスカウント情報」「システムログ情報」についてもクリアされます。
- なお、DMA-T2X は工場出荷時のパラメータ状態では正しく動作しません。
   通常起動させて運用(監視)する前に、新たな動作条件用パラメータを再設定してください。

### 6.3.5 パルス入力カウント変更

メンテナンスメニューの「パルス入力カウント変更」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

	積夠	算力ウ	ント	累利	責力ウ	マント
	現在値		変更値	現在値		変更値
DIO1	0	ସ	0	0		999999999
DI02	0	▼	0	0		999999999
DIO3	0	▼	0	0		999999999
DI04	0	▼	0	0		999999999
DI05	0	▼	0	0		999999999
DI06	0		0	0		999999999
DI07	0		0	0		999999999
DI08	0		0	0		999999999
DI09	0		0	0		999999999
DI10	0		0	0		999999999

- DMA-T2X がパラメータ設定モード(「TEST(テスト)」キーを押しながら電源投入)の場合に、本機能を利用で きます。
- 入力タイプが「パルス入力」に設定された接点入力 Ch(DI01~DI10)の初期値(起動時の積算カウント値、お よび累積カウント値)を変更できます。



### 6.3.6 本体再起動

メンテナンスメニューの「本体再起動」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

● 「はい」をクリックすると、DMA-T2X が再起動します。(シャットダウン処理を実施してから再起動)



※内蔵通信モジュールの電源が入っている場合は、電源 OFF してからシャットダウンします。 その後、自動的に再起動します。



# 6.3.7 moperaU 登録変更モードの設定

DMA-T2Xの機器状態(CONDITIONS)LED が橙色に 0.5 秒間隔で点滅している事を確認したら、

画面の上部にあるメニューバー「メンテナンス(M)」>「moperaU 登録変更」をクリックします。

機器状態(CONDITIONS)LED が橙色に 0.5 秒間隔で点滅している事が確認できない状態で

「moperaU 登録変更」をクリックすると「moperaU 登録変更」が失敗するので、ご注意ください。

🛞 DMA設定ソフト (for DMA-T2X)	1.F-	
ファイル(F) 通信(C) メンテナンス(M) 3	シリアルポート選択(P) 情報(A)	
□ □ □ □ □ ● ● ●      現在入力値読み システムログ読	<b>込み</b> み込み <u>-ド</u> 変更なし	
■ DMA-T2X (Ver ■ - 接続 メール详信 ・ スール详信	-タ読み込み(ファームウェア Ver4.08.0 化	b)
	シト変更 の新規にパラメータを作成する	
□ 2000 05 団-アナログ入力 本体FW/(-ジ: UIMカード戦話	■ンアップ	
	● パラメータを読み込む	
	保存メニュー	
	🗎 ファイルに上書き保存する	
	🖹 名前を付けてファイルに保存する	5
	● バラメータを書き込む	
		http://www.haneron.com/

moperaU 登録変更モードの起動確認画面が現れます。

確認ができれば「はい」をクリックします。

moperaU	登録変更モード起動
0	ドコモのUIMカードのmoperaU初期登録・設定変更を行うため、 DMA-T2XのmoperaU登録変更モードを起動します。 moperaU登録変更モードが起動されると パラメータの読込み/書込み、および 現在値の読込みなどの機能が使えなくなります。 本体再起動させるまでPC設定モードに戻りません。
1	moperaU登録変更モードを起動しますか?
	(はい(Y) いいえ(N)

「はい」がクリックされると、moperaU 登録変更モードを起動します。





何らかの異常が起きた場合、数秒後に moperaU 登録変更モードの起動が失敗します。

異常の種類によって画面が違います。

異常発生時の対処方法は画面に表示されるメッセージをご参照ください。



なにも異常が起きていなければ、DMA-T2X の機器状態(CONDITIONS)LED が橙色に 0.1 秒間隔で点滅します。



これで DMA-T2X が moperaU 登録変更モードに入りました。

moperaU 登録変更モードに入った直後に設定ソフトが自動的に「APN 設定」を行います。

# DMA 設定ソフト(for DMA-T2X)操作説明書





異常の場合は数秒後に「APN 設定が失敗しました」の異常画面が現れます。

異常発生時の対処方法は画面に表示されるメッセージをご参照ください。



「APN 設定」に異常がなければ、数秒後に moperaU 登録変更モードの起動が成功します。



既に moperaU 登録変更モードに入った状態で再び「moperaU 登録変更」をクリックすると再度「APN 設定」が行われま

す。

## 6.3.8 本体 FW バージョンアップ

本体ファームウェア更新が行う前に必要に応じて DMA-T2X のパラメータを読み出して保存し、本体ファームウェア更新 が完了後には、DMA-T2Xを「パラメータ初期化 ※6.3.4」してから、保存したパラメータを DMA-T2X に書き込んでください。

DMA-T2Xの本体ファームウェアを新しい Version へと更新する場合、本機能を使用します。

更新用のファームウェアデータは、当社ホームページ「<u>http://www.haneron.com/</u>」よりご提供します。

メンテナンスメニューの「本体 FW バージョンアップ」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

- 「ファイル選択」ボタンを押し、更新用のファームウェアデータファイルを選択します。
- ●「バージョンアップ実行」ボタンを押すと、DMA-T2Xの本体ファームウェア更新が開始されます。
   (※ファームウェア更新によって RAM に保存してあるデータがクリアされます)

🛞 本体FWバージョンアップ	×
	ファイル選択
バージョンアップ実行	閉じる

## 【注意事項】

- 当社から提供しているファームウェアデータファイル以外を使用された場合、製品(DMA-T2X)は当社の保証対象 外となります。
- ファームウェア更新中はすべての LED(電波状態 LED が 2 個、機器状態 LED が 1 個、入力状態 LED が 10 個 ) が全点灯状態となります。

(※ファームウェア更新中であることをご確認いただけます。)

- ファームウェアの更新中は、DMA-T2X への電源供給を切らないでください。
   (※DMA-T2X が動作できない状態となり、修理が必要になる可能性があります。)
- ソフトウェア更新が完了しますと、バージョンアップ完了を示すメッセージが表示されます。
   完了メッセージの表示を確認してから、DMA-T2Xへの電源供給を切ってください。
   (※DMA-T2Xは、電源の供給が切られるまで、動作を停止した状態となります。)
- 上記の操作で DMA-T2X の電源を OFF した後、再度 DMA-T2X を起動(電源供給)し、ファームウェアの Version を確認してください。(正しく更新されていることを確認してください。)
   DMA-T2X からのパラメータ読み込み操作によって、ファームウェア Version を確認できます。
- 意図しない状況が発生するなどして DMA-T2X が正常に起動しない状態に陥った場合、当社に修理依頼 (DMA-T2X をご送付)していただく必要があります。



# 6.3.9 UIM カード電話番号読み込み

メンテナンスメニューの「UIM カード電話番号読み込み」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

電話番号読み込み	34-4278-4	
<b>DMA-T2X のUII</b> よろしいですか	Mカード電話番号を読 ?	み込みます。
	(まい(⊻)	<u>いいえ(N)</u>

● 「はい」ボタンを押すと、UIM カードの電話番号を読み出して表示します。

電話番号読み込み	X
UIMカード電話番 <sup>5</sup>	号は 020 <mark>15</mark> 201210
	ОК

● UIMカードを装着していない状態でDMA-T2Xを起動させた場合に読み込みすると失敗(「Do not read tel no.」)します。

